

授業科目(ナンバリング)	日本語コミュニケーションB (CB205)			担当教員	佐野 香織		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの 類 型
本授業は、国際共修として、日本人・留学生が共にディスカッションをしながら進める授業である。(留学生向けの日本語の授業ではないので注意すること)。 本授業は、社会言語学入門として、現代日本社会のさまざまな「日本語」を対象に考察する。そして、出身地、地域、性差、状況等によって言葉が多様に使われていることを学んでいく。受講者一人一人が、自分のことばを問い直し、自分と社会、日本語との関係を考えることができるようになることを目標とする。							②④⑩
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	社会言語学の基礎を理解し、意見交換ができる。					課題 期末発表	45%
協働・課題解決力	課題遂行を通して、協働で学び合うことができる。					活動	25%
多様性理解力	社会における言葉の働きを理解、分析し、まとめることができる。					レポート	30%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
日本語の分析に関する課題の提出物で 20%、活動で 25%、期末発表で 25%、レポートで 30%、評価する。提出物に関しては、翌週の授業内容に反映させる。活動も授業中にフィードバックを行う。							
授 業 の 概 要							
日本語を社会言語学の観点から分析し、さまざまな日本語と日本語教育とのかかわりや、社会と言葉の関係について考える視点を養う授業である。受講生自らが日本語使用を観察し、考え、分析できるようになることを目標とする。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：石黒圭（2013）『日本語は「空気」が決める 社会言語学入門』光文社新書 参考書：適宜紹介する。 指定図書：石黒圭（2013）『日本語は「空気」が決める 社会言語学入門』光文社新書							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業は学生の考え、意見を中心に進めます。授業を聞いて、気づいたこと、考えたこと、調べたことを発言し、積極的に参加することを期待します。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 導入	本授業の目標、評価、授業の進め方の説明をする。社会言語学の基礎について概観する。	予習：シラバスを読む 復習：理論言語学と社会言語学のちがい
2	社会言語学とは何か	社会言語学の基本用語を学ぶ	予習：社会言語学の定義 復習：社会言語学に関わる基本用語
3	地域に根差した言葉	地域方言と社会方言 方言の否定・誇りについて学ぶ	予習：方言事例 復習：方言、標準語、共通語について考える
4	話し手に根差した言葉	日本語の場と場面、役割語、待遇表現について学ぶ。	予習：ことばづかいとイメージについて考える 復習：役割語事例
5	日本語の人称表現	日本語の人称表現について学ぶ。	予習：自分の人称変遷 復習：人称表現と関係性について考える
6	言葉と言語	バイリンガリズムとマルチリンガリズム、コードスイッチングとコードミキシング、トランスランゲージングについて、日本語を例に学ぶ。	予習：自分の外国語使用をふりかえる 復習：社会と言語使用事例について考える
6	言葉と文化	言語相対論、言語特徴、政治的公正性について学ぶ	予習：虹の色の違いについて考える 復習：課題事例を考える
7	言葉の変化	世代と変化、時代と変化、地理と変化、言語の創造性、言語の死について学ぶ。	予習：言葉の正確性について考える 復習：言語の生死を考える
8	言葉と政治（１）	国語と共通語と標準語、言語政策、多言語主義と複言語主義について学ぶ。	予習：自国の公用語 復習：主義の違いについて考える
9	言葉と政治（２）	ヨーロッパ言語共通参照枠、コミュニケーション能力について学ぶ	予習：CEFRについて 復習：
10	言葉と実践（１）	多文化共生社会における論点として「やさしい日本語」について知り、「日本語」を再考する	予習：指定ハンドアウトを読む 復習：「日本語」をふりかえる
11	言葉と実践（２）	外部講師講演（予定） 多文化共生社会における「ことば」「コミュニケーション」	予習：ハンドアウトを読む 復習：コミュニケーションをふりかえり展望する
12	言葉と社会（１）	ここまで学んできたトピックの中から興味のあるテーマを選び、使用観察・分析を試みる	期末発表の準備
13	言葉と社会（２）	これまでのトピックについて、身近な課題を発見し、発表を通してディスカッションする（期末発表）	予習：発表準備 復習：発表ふりかえり
14	言葉と社会（３）	これまでのトピックについて、身近な課題を発見し、発表を通してディスカッションする（期末発表）	予習：発表準備 復習：発表ふりかえり
15	まとめ	今学期の学びを総括し、レポートとしてまとめる準備をする。	予習：期末レポート準備 復習：ふりかえり

授業科目(ナンバリング)	日本語コミュニケーション B (CB112)			担当教員	※佐藤 まどか		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
この授業は、留学生対象である。身近な日常生活でよく使われる文や表現が理解できるようになるための A2～B1 レベル (JF 日本語教育スタンダード) の語彙や文型を異文化理解を深めながら習得する。トピックに関連した短い文章を読んで、文章を書いたり、自分の経験や考えを話したりすることで、A2～B1 レベルのコミュニケーションができるようになることを目指す。							①②③⑨
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	既習語彙と文型を理解し、会話や作文に活用できるようになる。					小テスト 課題	30% 30%
協働・課題解決力							
多様性理解力	日常的な様々な場面で使用される日本語の基本的な語彙・表現が理解できる。 身近な話題から異文化を学び、自分自身の文化をふり返って、母国と他国の文化の違いを理解し、考えを深めていくことができる。					チェックテスト	40%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎回行う「小テスト」で 30%、毎回の「課題」で 30%、「チェックテスト」で 40%を評価する。 「小テスト」は採点し、「課題」は確認し、返却する。 授業に関する指示（「課題」や予習内容など）は授業中口頭で、またはポートフォリオを通して行う。							
授 業 の 概 要							
授業では「新しい語彙と文型を理解し、会話や作文で使うことができるように習得する。そして、トピックに関連した短い文章を読んで、内容を理解し、自分の経験や考えを書けるようになること・話せるようになることを練習する。 毎回授業の始めに「小テスト」を行う。また、習った内容に関連した「課題」を毎回出す。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：国際交流基金 編著『まるごと 初級 2 A2 りかい』『まるごと 初中級 A2/B1』三修社 参考書：WEB 資料 https://www.marugoto.org/download/ 指定図書：国際交流基金 編著『まるごと 初級 2 A2 りかい』『まるごと 初中級 A2/B1』三修社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
教科書や『まるごと』のオンライン教材（ごいインデックス、かんじのことばリストなど）を使って、授業が始まる前までにその日の授業で勉強する語彙や漢字の予習をしてください。授業は予習しているという前提で進めます。そして、授業後は授業で勉強したことをしっかり復習してください。書いたり、話し合ったりすることが多いので、すぐにメモできるように、授業にはノートを持って来たほうがいいです。わからないことがあったら、わからないままにはしないで、先生に質問してください。勉強したことばを使って、たくさん会話をしましょう。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 家をさがす	・授業・評価方法について説明する ・自己紹介 ・小テスト ・Topic2 よんでわかる[4]	予習: ①シラバスを読む ②自己紹介 ③Tp2 のことば・かんじ 復習:P. 40-42 [課題]
2	家をさがす	・小テスト ・Topic2 よんでわかる[5]	予習:自分の家の探し方について考える。 復習:P. 43 [課題]
3	ほっとする食べ物	・小テスト ・Topic3 よんでわかる[4]	予習:Tp3 のことば・かんじ 復習:P. 50-52 [課題]
4	ほっとする食べ物	・小テスト ・Topic3 よんでわかる[5]	予習:自分が一番ほっとする食べ物について考える。 復習:P. 53 [課題]
5	訪問	・小テスト ・Topic4 よんでわかる[4]	予習:Tp4 のことば・かんじ 復習:P. 60-62 [課題]
6	訪問	・小テスト ・Topic4 よんでわかる[5]	予習:母国での訪問マナーについて調べる。 復習:P. 63 [課題]
7	ことばを学ぶ楽しみ	・小テスト ・Topic5 よんでわかる[4]	予習:Tp5 のことば・かんじ 復習:P. 70-72 [課題]
8	チェックテスト	・Topic2～Topic5 新しい文法・文型の復習 ・Topic2～Topic5 のテスト	予習:これまでに習ったこと
9	ことばを学ぶ楽しみ	・小テスト ・Topic5 よんでわかる[5]	予習:日本語学習のきっかけと目標について考える。 復習:P. 73 [課題]
10	結婚	・小テスト ・Topic6 よんでわかる[5]	予習:Tp6 のことば・かんじ 復習:P. 82-84 [課題]
11	結婚	・小テスト ・Topic6 よんでわかる[6]	予習:母国での結婚観について調べる。または、自分の結婚観について考える。 復習:P. 85 [課題]
12	なやみ相談	・小テスト ・Topic7 よんでわかる[4]	予習:Tp7 のことば・かんじ 復習:P. 92-94 [課題]
13	なやみ相談	・小テスト ・Topic7 よんでわかる[5]	予習:なやみ相談について考える。 復習:P. 95 [課題]
14	旅行中のトラブル	・小テスト ・Topic8 よんでわかる[5]、[6]	予習: ①Tp8 のことば・かんじ ②留学中に経験したトラブルについて考える。 復習:P. 102-104, P. 105 [課題]
15	チェックテスト	・Topic6～Topic8 新しい文法・文型の復習 ・Topic6～Topic8 のテスト	予習:これまでに習ったこと